

2025
ae 社協まつもと

つむぎちゃん通信

2026
10月

No.249

人と人とのつながりが広がる社会の実現



今月の表紙

つむぎマルシェinはた

松本市西部保健福祉センターで「つむぎマルシェinはた」を開催して、松本市社協の障がい者就労支援施設5事業所の利用者の皆さんが、焼きたてのパンや自主製品を販売したよ！
初めての開催だったけど、地域の皆さんがたくさん来てくれて、大盛況だったよ！



目次

第21回四賀地区福祉の集い 開催！／「なごみ荘ボランティアの会」のご紹介！／

令和7年度 決算報告(概要) P2

特集 赤い羽根共同募金 P3

お知らせコーナー／福祉漫画あいちゃん P4

【社協の使命】 私達は、誰もが安心して、自分らしく暮らし続けることができる、福祉のまちづくりを推進します。



発行:松本市社会福祉協議会



第21回四賀地区福祉の集い 開催！

6月13日（土）四賀支所ピナスホールにて四賀地区福祉の集いが開催されました。住民一人ひとりが支えあい、しあわせを感じ、健康で安全に暮らすことのできる地域社会づくりのために毎年開催をしています。

今年は、第1部で社協つむぎちゃん劇団の公演と関係者によるトークセッションを行いました。

第2部では、82歳の中嶋きみ子さんのシャンソンコンサートで元気をいただきました。

参加した住民が、認知症を我が事とし、年齢を重ねても元気に輝けることを考える機会となりました。



四賀地区福祉の集い

トークセッション



つむぎちゃん劇団

シャンソンコンサート



梓川デイサービスセンターなごみ荘の頼れる地域のパートナー

利用様が明るくゆったり心地良くなごみ荘で過ごせるように、応援してます!!

なごみ荘ボランティアの会

梓川地区の『なごみ荘ボランティアの会』の皆さんは、平成10年から長きにわたり梓川デイサービスセンターなごみ荘でボランティア活動をしています。いつもなごみ荘を支えてくれる心強い存在です。

多彩な活動でなごみ荘をサポート！

- 利用者様のお話相手
- お茶出しのお手伝い
- お風呂上がりのドライヤー掛け
- バスタオルを縫った足ふきマットの作成
- 新聞紙や広告を使った収納袋の作成
- デイサービスセンターの飾り付けの提案
- ・・・などなど。



いつも笑顔のボランティアさん



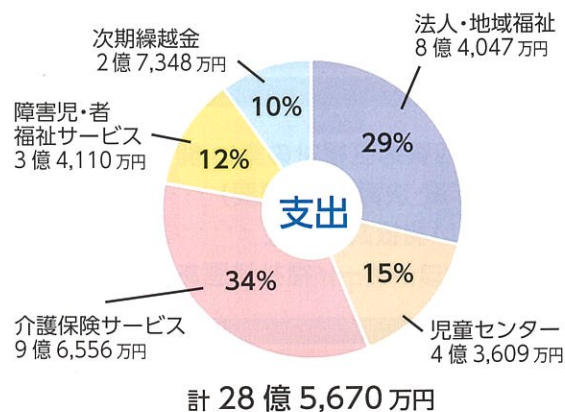
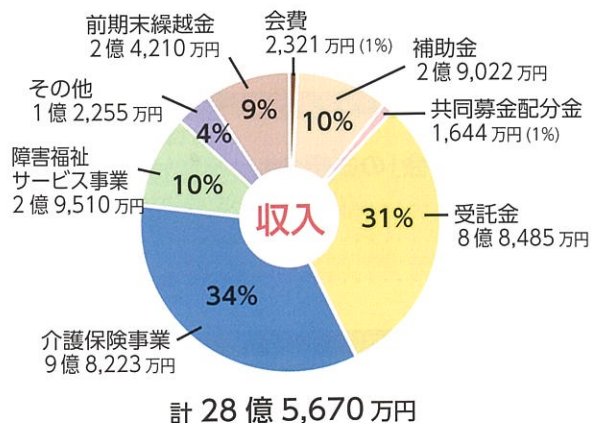
利用者様と一緒に夏祭り



お風呂上がりの利用者様の髪を乾かしています

令和7年度 決算報告(概要)

※数字は表示単位未満を四捨五入しています。



決算報告の詳細および事業報告につきましては、松本市社協のホームページをご覧ください。

特集

赤い羽根共同募金

八十周年

ありがとう。これからも一緒に。



赤い羽根共同募金ってなに？

共同募金は、戦後間もない1947年に「国民たすけあい運動」として始まりました。2026年度が80回目の運動となり、法律（社会福祉法）に基づいて、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、さまざまな福祉活動を支援するために活用されています。募金は任意であり、寄付者の自発的な協力により行われています。



各地区で活用されている配分金の使いみちの一部を紹介

敬老祝賀会やふれあい会食会の開催、広報誌の発行等に活用されています。

○平瀬川東いきいきふれあいサロン(島内地区)



年に6回開催のサロンは、地域の皆さんのつどいの場となっていて、居場所づくり・たまり場づくりにつながっています。

○ボランティア育成活動支援(本郷地区)



本郷地区福祉ひろばを中心に活動している「イチョウの会」はバザーやひろば祭り、文化祭等に参加。ひろば祭りでは災害時を想定した炊き出し訓練も行いました。

（共同募金について）

共同募金は、都道府県（長野県は長野県共同募金会）を単位として募金活動が行われ、その区域内の地域福祉活動に配分されます。

松本市では、住民の代表で構成された松本市共同募金委員会・審査委員会において、募金方法や配分方法を決めて、各地区で行う事業への配分と松本市全体で活用される事業（市社協事業）への配分について審査・決定しています。



松本市全体で活用される配分金の主な使いみち

○車いす・福祉自動車の貸出し



令和7年度の実績

・車いすの貸出し 延べ511台
・福祉自動車の貸出し 延べ645回

○松本市社会福祉大会



多年にわたり地域福祉活動に尽力された方々を表彰するとともに、誰もが暮らしやすいまちづくりについて考える機会として開催（令和7年度：楽団ケ・セラのコンサートの様子）

○ボランティアありがとうの集い



ボランティア・地域活動などに取り組まれている方々に感謝し、リフレッシュしていただくことを目的として開催（令和7年度：イッカデサーカスパフォーマンスの様子）

赤い羽根共同募金を財源とした助成金のお知らせ

●安心・安全なまちづくり配分

内容：地域住民を対象として行う防災・減災に係る物品の整備のための公募配分

対象団体：非営利の住民組織団体で、過去に本事業の配分を一度も受けていない団体

配分額：上限20万円

申請受付期限：令和8年11月30日(月)

●社会福祉事業助成金

内容：地域の福祉事業を推進することを目的に全市的に行う福祉事業に対する助成

対象団体：社会福祉を目的とする事業を行う団体

配分額：上限3万円

申請受付期限：令和8年12月18日(金)

その他の使いみちや、募金額については、赤い羽根データベース「はねっと」をご覧ください。➡



街頭募金の様子

令和7年度の募金運動において、さまざまな団体・個人の皆様が街頭募金に協力してくださいました。



松本美須ヶ丘高校生徒会の皆さんによる募金運動の様子

★共同募金に関するお問い合わせ

松本市共同募金委員会事務局
(松本市社会福祉協議会 地域福祉課内)
☎27-3381



お知らせコーナー

ご案内 ペットボトルキャップ回収にご協力ください！

当会では、ペットボトルキャップの再資源化で得た収益で、世界の子どもたちにポリオワクチンを贈る「エコキャップ運動」を推進しています。

ご家庭などで集まったペットボトルキャップがありましたら、ぜひ当会までお持ちください。皆さまのご協力をよろしくお願いします。



【集めている場所】

- ・松本市総合社会福祉センター 5階 (松本市双葉4-16)
- ・松本市役所 波田支所内 (松本市波田4417-1)
- ・ふくふくらいず (松本市元町3-7-1)
- ・松本市役所 四賀支所内 (松本市会田1001-1)

※回収できるものは、ペットボトルのキャップのみとなります。

【令和7年度の実績】 ※ポリオワクチン1人分20円で換算

総重量	キャップ数	金額換算	ポリオワクチン
7,530kg	376万個	75,300円	3,765人分

★お問い合わせ 地域福祉課 ☎27-3381

三献運動！

献血・献眼・献腎

三献運動推進市民大会 開催

三献(献血・献眼・献腎)運動とは？

血液、眼球、腎臓の病気やケガに苦しむ人に、自身の血液や角膜、及び臓器を提供して助け合おうというのが三献運動で、松本市は三献運動推進都市宣言をしています。今年は12月を強化月間と定め、イオンモール松本にて推進市民大会が開催されますので、ぜひご参加ください。

【日 時】 令和8年12月12日(土) 13時30分～16時30分

【場 所】 イオンモール松本 風庭2階 イオンホール

【内 容】 講演 「いのちのボタン～医療者じゃなくてもできること～(仮)」

講師 遠藤 麻衣 氏

遠藤先生は、母親の脳死と臓器の提供を経験され、「いのちの大切さ」をテーマに講演活動を行っています。

★お問い合わせ

松本市三献運動推進協議会
(松本市役所 健康づくり課内)

☎34-3217



三献運動についてはこちらから



松本市社協
ガイドブック



YouTube



松本市
社会福祉協議会

松本市社協の活動
情報を発信してい
ます。



(旧Twitter)



FOLLOW US

@m_syakyo

https://x.com/m_syakyo/



発行: 社会福祉法人 松本市社会福祉協議会

住所: 〒390-0833 松本市双葉4番16号

Email: syakyoum@avis.ne.jp ホームページ: <http://www.syakyo-matsumoto.or.jp>

編集: 「社協まつもと」編集会議

電話: 27-2000 FAX: 27-2239

